

シアン化カリウム0.02mg/Lのアラーム試験データ

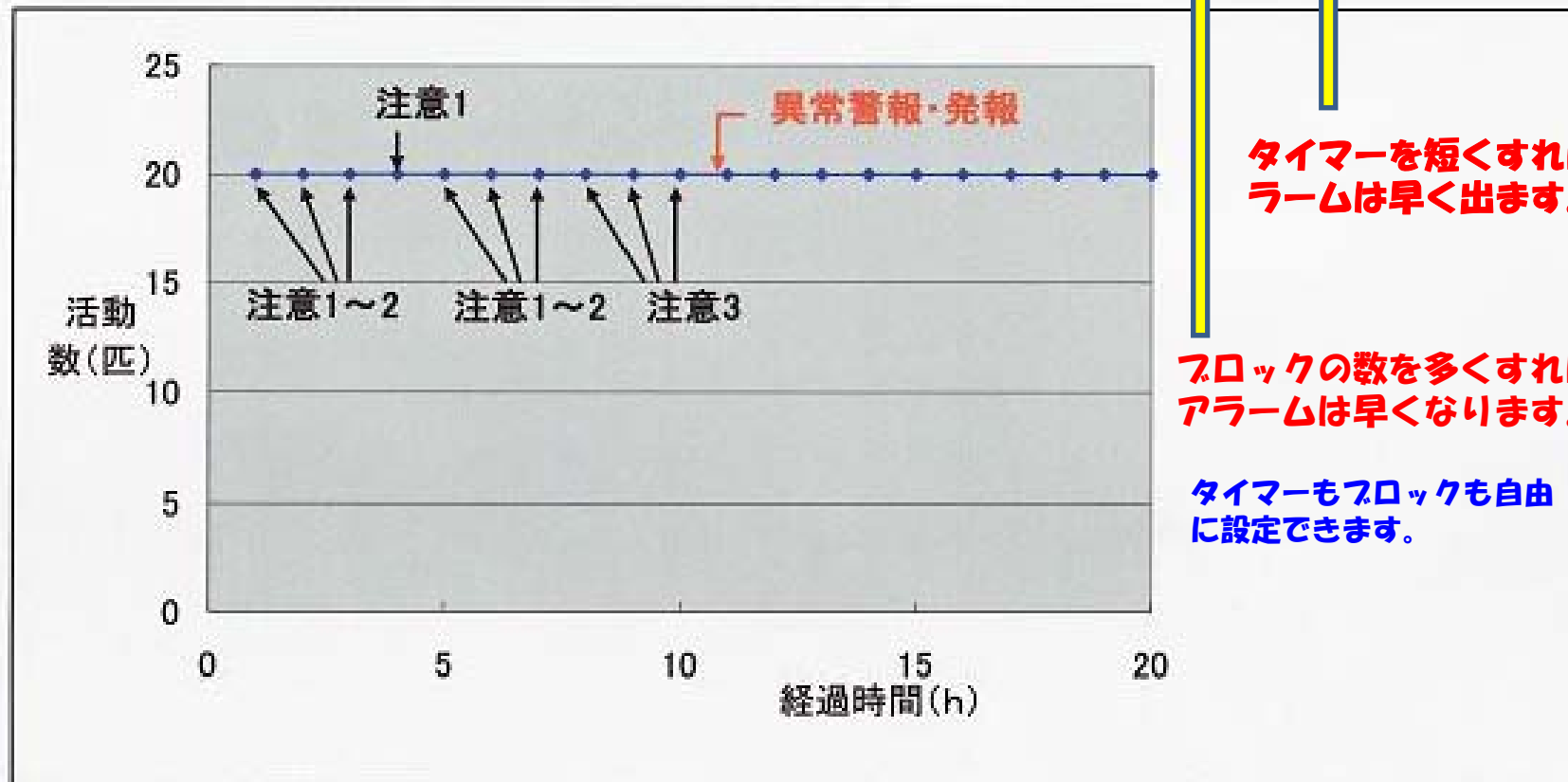
グラフ

NBA-03型アラーム試験

試験日: 2009年01月24日 (01:00~11:50)
 場所: 環境電子㈱ 本社研究室
 試薬: 「シアン化カリウム」0.02mg/L
 水温: 15°C

装置設定値

アラーム	検出ブロック	タイマー(秒)	動作時間
注意1	10	30	0.5
注意2	8	45	0.5
注意3	6	60	0.5
異常	4	75	0.5



タイマーを短くすればアラームは早く出ます。

ブロックの数を多くすればアラームは早くなります。

タイマーもブロックも自由に設定できます。

20時間経過してもメダカは1匹も死にませんでしたが、シアン0.02mg/Lで装置は軽警報から重警報まで段階的に発報しました。

シアン化カリウム0.02mg/Lでアラームがでます → 当社製のみ

正常な時の行動



正常な時の画像解析の表示

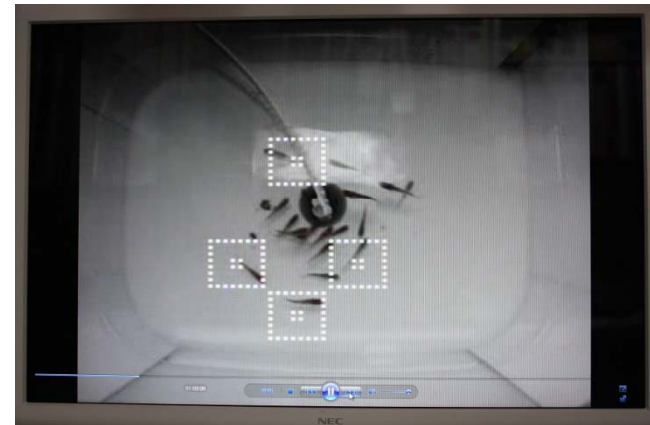


シアン流入による捕食防御本能による異常行動



シアン0.02mg/Lではメダカは1匹も死にません

異常時の画像解析の表示



アラームは当社独自のアルゴリズムで、設定した時間内に何個のブロックを感知するかです。

当社製品はヒメダカを多数匹（群れ）で監視します

……その理由は？

群れの異常行動（捕食防御本能）を見分けることで希釈された毒物でもアラームが出せます。

目視判定との決定的な違い

目視判定は死亡判定

捕食防御本能は群れを大きく見せるために群れで固まります。

装置は小型魚類の生態本能を利用



イワシの群れ行動